

出雲教

出雲教の結婚式

1 参進

—さんしん—

神職に導かれ、参進が始まります。境内に鳴り響く笛の中、厳かに一歩一歩御神殿まで進んでいきます。

※天候により中止する場合があります。



2 新郎新婦、参列者着席

3 修祓

—しゅばつ—

式に先立ってお祓いを受けます。

神職が、新郎新婦及び参列者全員のお祓いを行います。

この間、全員起立し頭を下げる

4 祝詞奏上

—のりとそうじょう—

斎主が祝詞を奏上し、お二人の末永い幸せをお祈りします。

この間、全員起立し頭を下げる

5 誓盃の儀

—せいはいのぎ—

「三々九度」とも呼ばれ、新郎新婦が小中大三つの盃により、左の順序で御神酒をいただきます。

小盃…新郎↓新婦
中盃…新婦↓新郎
大盃…新郎↓新婦

三口でいただきますが、一、二は口に付けるだけで、三口目でいただきます。

※お酒が苦手な

方、飲めない方は口をつけられるだけで構いません。



それぞれの盃には

小盃…先祖への感謝
中盃…夫婦となる新郎新婦の誓い
大盃…子孫繁栄の願い
このような願いが込められています

6 指輪の儀

—ゆびわのぎ—

ご希望の方に指輪の交換をしていただきます。お互いの薬指にはめます。

7 誓詞奉読

—ちかいのことばほうどく—

新郎新婦が神前に進み、誓詞を奏上します。



8 玉串拝礼

—たまぐしはいれい—

新郎新婦が感謝と祈りを込めて玉串を奉り、二拝四拍手一拝で拝礼します。

9 両家代表玉串拝礼

両家代表の二名が神前に進み、玉串をお供えし、二拝四拍手一拝で拝礼します。

玉串の捧げ方

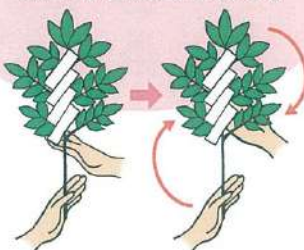
- 1 玉串の葉の方を左に、根元の方を右に持ちます。



- 2 玉串の葉の方を上に向けま。



- 3 左手で根元を持ち、右手を先の中ほどにあて玉串を右に回します。



- 4 玉串の根元を神前にむけて案上に捧げます。



10 結び肴の授与

―むすびぎかなのじゅよ―
縁起物の結び昆布・結びするめを親族の方にお授けします。長寿や繁栄を願う意味が込められています。

11 神職祝辞

―しんしよくしゆくじ―
新郎新婦に神札、御守をお渡しいたします。

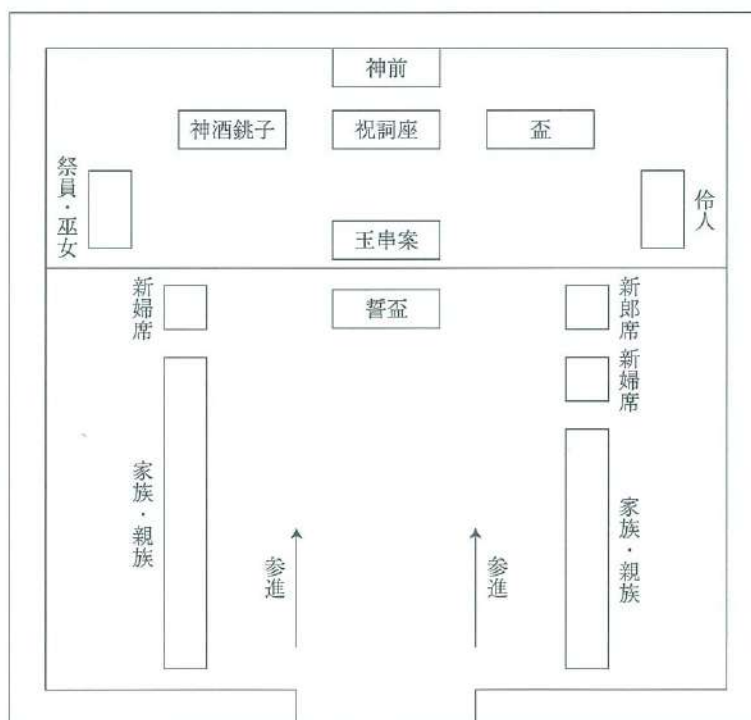
併せて神職よりお祝いの言葉を申し上げます。

12 神職・巫女退下

―しんしよく・みこたいげ―
神職・巫女が御神殿より退席し、結びとなります。

神前結婚式

神前位次略図（結婚式場）



挙式は、神職・巫女から説明を受けながらの進行になっておりますので、内容を覚えらる必要はありません。挙式の作法や進行について事前説明をご希望の場合はお申し出ください。

その他、ご質問がございましたら出雲教結婚式場までお問い合わせください。

お問い合わせ

電話 0853-31-5155
E-mail kongi@izumokyou.or.jp

